

キャラクター名
鯨井 響弥(くじらい きょうや)

プレイヤー名

シンドローム	バロール		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	バロール			年齢	高校2年	性別
オプション						
覚醒	素体	衝動	妄想	初期侵食率	30	%
出自	父親不在	経験	否認	邂逅	否認	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	3		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
-----~79-----		0				-----
	RC	4r+3	7	+20		①+② 侵蝕+6
		0				攻撃力+20
	RC	2r+3	7	+28		☆,①+② 侵蝕+12

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
申し子	P	N		
シナリオロイス置き場	P	N		
名前知らないおっさん	P 同情	N 猜疑心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ダークマター	5	3	7			自動		
効果:	+LvD							
過剰収縮	5	3	7	至近	自身	自動		
効果:	-[Lv以下数]D,攻撃力+[同数*4]							
コト:バロール	2	2	X					
効果:	C値-LV							
黒の鉄槌	1	1	X	視界		対決		
効果:	攻撃力+[LV*2+2]同エンゲ不可							
因果歪曲	3	3	X		範(選)			
効果:	範囲化 同エンゲ不可							
黒星の門	3	2	X					
効果:	同エンゲ可,+[Lv+1]D							
黒の咆哮	5	4	X			対決	80	
効果:	攻撃力+[Lv*4]-2D							
霸王幻魔眼	5	5	X		単体	対決	80	
効果:	攻撃力+[Lv*5]							
ランナウト	1	6	オート	至近	自身	自動	D0.5	
効果:	EFLv+2							
ディメンションゲート	1	3	X	至近	自身	自動		
効果:	べんり。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

11月23日生まれ、O型。
 男子高校生。帰宅部。[寂しい女の人をなぐさめるアルバイト]をしている。接客。(想定はホストクラブみたいな女の人とお酒飲んだりするような店)金がないらしく一人のときは徒歩で移動する。ちょっとくらいなら日数かかって大丈夫だろうと。大丈夫ではない。時々ひとり山に籠っている。本人はキャンプだと言って。山にいる間はぼーっとしたり食べ物探したり(ちょっとしたサバイバル)服飾品の手持ちが少ない。いいもの買って長持ちさせるタイプというのもあって買い物は慎重。

接する人によって口調が違う。
 仕事(アルバイト)関係の人には敬語でかしまって話す(執事っぽいです。仕事ではそういうキャラを作っている)同級生くらいだと、普通に話します。(少し意識して自然っぽい感じにしている)
 仲の良い人と素です。素だとちょっと乱れた言葉使いをします。(「よし、いっちゃやりますか!」「ういうい。じゃあ、ちとまって」)めっちゃポジティブ。あんまり難しい事考えない。人を褒めたりできるし友だちも少ないわけじゃない。

家庭事情など
 弊社不憫卒なので、家庭はめんどいです。両親は幼い頃は一緒に暮らしてたが、気が付けば母親だけになってた。(父親他界)母は夜の店で働いており、昼間は寝てるか家にいない。家事は鯨井くんに押し付けてる。鯨井くんは"家賃"を請求されており、公立高校に通いながらアルバイトをして、母親にお金を渡してる。この状況を鯨井本人はあまり気にしていない(ように見えるが、気にした上で自身の負担にならないように心が処理して防衛機制をかけている[否認、理想化])

産みの父方の祖父母と交流があり、大型連休などを利用して一人で会いに行く。